

地元報告会資料

(平成30年3月24日)



報告内容

- 1 平成29年度多摩清掃工場の運営について
 - (1) 主な事業の取り組み
 - (2) ごみ搬入量の推移
 - (3) 平成29年度 多摩清掃工場へのごみ搬入量
 - (4) 平成29年度 構成市間応援協定に基づく処理支援の状況
 - (5) 焼却炉運転日数
 - (6) 環境測定結果
 - (7) 中期経営計画「ビジョン2022」
- 2 平成29年度リサイクルセンター運営状況について
- 3 平成30年度予算概要について
- 4 平成30年度の事業予定について
- 5 その他
- 6 質疑

1 平成29年度多摩清掃工場の運営について

(1) 主な事業の取り組み①

➤安全対策

- ・環境測定の実施 ・ISO14001の適切な運用
- ・鳥インフルエンザ発生時を想定した焼却試験の実施



1 平成29年度多摩清掃工場の運営について

(1) 主な事業の取り組み②

➤たまかんニュース

- ・年2回 各107,400部発行（新聞折込）
- ・地域版年3回 各回約3,300世帯（ポスティング）

➤施設見学会の実施（平成30年2月末）

- ・67団体 3,352人参加

➤地元自治会等対象清掃施設見学会の実施

- ・平成29年11月24日（金）
- ・八王子市戸吹クリーンセンター
- ・地元自治会 12名参加

1 平成29年度多摩清掃工場の運営について

(1) 主な事業の取り組み③



➤地域交流ふれあい事業の実施

- ・平成29年10月15日たまかんフェスタ
(来場者 約1,250人)
(ステージ11団体・出店17団体)



➤クリーンアップ作戦

- ・清掃工場職員による工場周辺美化活動
(12月を除く毎月第3水曜日)
- ・唐木田クリーンアップ作戦2017
(平成29年12月27日 115名の参加)

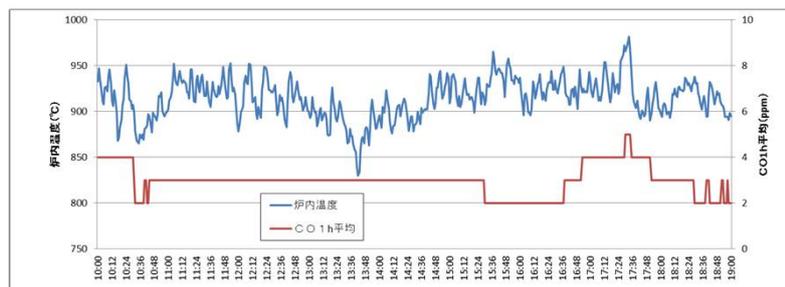
5

1 平成29年度多摩清掃工場の運営について

(1) 主な事業の取り組み④

- ・鳥インフルエンザ発生時を想定した焼却試験の実施(10時開始)

【試験中の炉内温度と一酸化炭素の1時間平均値の推移】



焼却試験の結果

インフルエンザに罹患していない殺処分された鳥を使用し、1箱に5羽、12kgの密閉容器25箱が完全に焼却できるかを試験した結果、炉内温度等の焼却状態は問題なく、安全に適正な処理をすることができた。

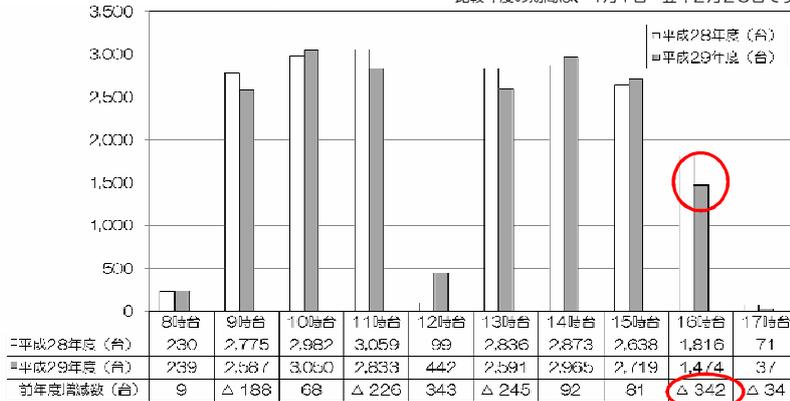
6

1 平成29年度多摩清掃工場の運営について

(1) 主な事業の取り組み⑤

- ・ごみ搬入時間の変更について

比較年度の期間は、4月1日～翌年2月28日です。



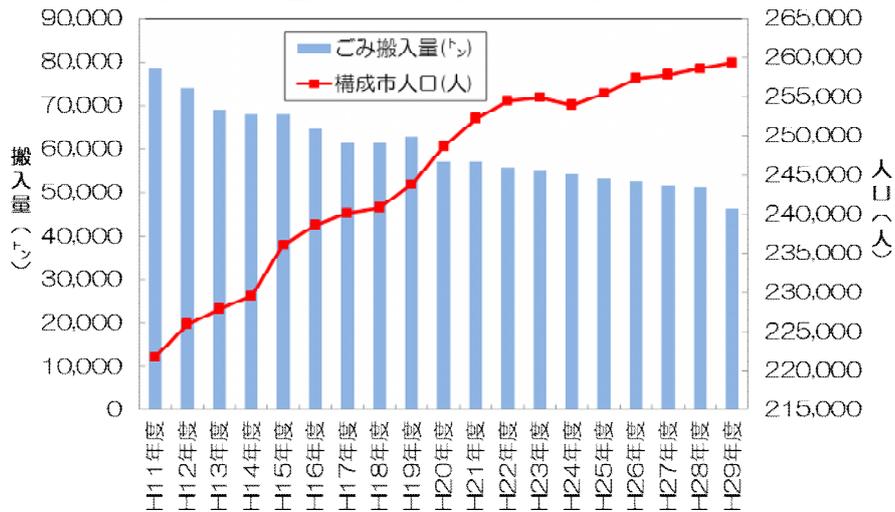
効果の検証

搬入時間を変更して昼休みの搬入を開始した結果、16時台の搬入台数を大きく削減することができました。

7

(2) ごみ搬入量の推移

(構成市処理区域内の可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ)



平成29年度のごみ搬入量は、平成30年2月末までの数値です。

8

(3) 平成29年度 多摩清掃工場へのごみ搬入量

(単位：トン)

		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	合計
構成市	(処理区域内)	42,446	1,960	1,739	46,145
	(八王子拡大区域)	8,815			8,815
	(八王子市応援分)	1,515	22	42	1,579
	(町田市応援分)	0	174	0	174
合計		52,776	2,156	1,781	56,713

注) 平成29年度のごみ搬入量は、平成30年2月末までの数値です。

9

(4) 平成29年度 構成市間応援協定に基づく 処理支援の状況

八王子市からの「応援ごみ」受入れ状況

- ◇ 受入期間 平成29年 5月29日から平成29年 7月 7日まで
- ◇ 受入理由 戸吹清掃工場の大規模改修工事による全炉埋火のため
- ◇ ごみ種 家庭系可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、事業系可燃ごみ
- ◇ 搬入量と台数 1,579.13^ト 935台

町田市からの「応援ごみ」受入れ状況

- ◇ 受入期間 平成29年10月9日から平成29年10月24日まで
- ◇ 受入理由 町田市清掃工場の不燃粗大ごみ破碎設備交換修繕によるプラント停止のため
- ◇ ごみ種 不燃ごみ
- ◇ 搬入量と台数 173.93^ト 306台

10

(5) 焼却炉運転日数

	平成28年度実績	平成29年度予定	平成30年度予測
1炉運転日数(日)	331	311	326
2炉運転日数(日)	2	2	2
全炉停止日数(日)	32	52	37

平成28年度以外は、予想値を用いています。

(6) 環境測定結果

排出ガス調査 (ばい煙等)

年 度		平成29年度					
測定年月日		H29.5.15	H29.7.12	H29.9.11	H29.11.20	H30.1.16	H30.3.15
運転炉		2号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉
ばいじん	濃 度 [g/m ³ N]	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	分析中
	規制基準値 [g/m ³ N]	法規制値：0.08 自主規制運用値：0.02					
硫黄酸化物	濃 度 [ppm]	7	9	8	9	9	分析中
	排出量 [m ³ N/h]	0.44	0.46	0.48	0.47	0.47	分析中
	法規制値 (m ³ N/h)	95.6	89.4	90.9	90.9	9.9	—
	自主規制運用値 [ppm]	自主規制運用値：20					
窒素酸化物	濃 度 [ppm]	39	30	41	33	39	分析中
	排出量 [m ³ N/h]	2.59	2.59	2.22	1.94	1.99	分析中
	規制基準値 [ppm]	法規制値：250 自主規制運用値：56					
塩化水素	濃 度 [ppm]	20	13	19	17	24	分析中
	規制基準値 [ppm]	法規制値：430 自主規制運用値：25					

排出ガス調査（ダイオキシン類）

単位：ng-TEQ/m³_N

29年度					
測定炉	排出基準	H29.4.24	H29.7.13	H29.10.23	H30.1.15
2号炉	法規制値：1 自主規制運用値：0.01	0.00015	休炉中	休炉中	休炉中
3号炉		休炉中	0.0019	0.0034	0.00024

大気中のダイオキシン類調査

単位：pg-TEQ/m³

年 度	調査名等	調査地点				環境基準	
		からきだの道	中坂公園	小山田緑地	別所公園		
平成29年度	焼却炉稼動時	夏期調査 (7/7~14)	0.017	0.0096	0.016	0.016	0.6
		冬期調査 (1/10~17)	0.0075	0.0095	0.012	0.0073	
	年平均値（稼動時）	0.012	0.0096	0.014	0.012		
	焼却炉停止時調査 (1/22~29)	0.0081	0.0087	0.013	0.0074		

13

放射能調査

年度		平成29年度（2月分まで）	
測定項目		2月の直近測定値	最小値～最大値
排出ガス	放射能濃度 (単位：Bq/m ³ _N)	不検出	全て不検出
焼却灰	放射能濃度 (単位：Bq/kg)	15.9	不検出～25.1
飛灰固化物		49.7	49.7～131
敷地境界	空間放射線量率 (単位：μSv/h)	0.06	0.05～0.11
大気中		0.05～0.07	0.04～0.08

不検出とは・・・その分析方法で対象物質が検出できる最低濃度のことです。

排出ガスの基準：
〔（セシウム134の濃度÷20）＋（セシウム137の濃度÷30）〕 ≤ 1
焼却灰と飛灰固化物の基準値：8,000 Bq/kg

14

(7) 中期経営計画「ビジョン2022」について①

➤ 経営方針

「環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場」

➤ 計画期間

平成30（2018）年度から平成34（2022）年度（5か年）

➤ 計画の体系

経営方針を達成するため、4つの目標、12の取組項目、30の取組内容を設定しました。

➤ 経営方針を達成するための4つの目標

1. 安全で安定的な循環型処理の推進
2. 効率的・効果的な組合運営の推進
3. 市民理解及び構成市との連携の推進
4. 次期処理施設に係る検討

15

(7) 中期経営計画「ビジョン2022」について②

➤ 取組内容（例）

③ 省エネルギー機器の導入					
省エネルギー効果の高い場内照明をLED化するとともに、老朽化した空調設備等を更新し、省エネルギー化とオゾン層破壊や地球温暖化に作用するフロンガス対策を実施する。					
背景	各設備の老朽化により、故障リスクが高まるとともにエネルギーの浪費や地球環境に悪影響を及ぼす恐れがあるため、順次最新の設備に更新する必要がある。				
ねらい	費用対効果を考慮した省エネルギー化により、効果的な工場運営を図るとともに地球温暖化防止やオゾン層破壊対策等環境負荷の低減にも貢献することができる。				
年次計画	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)
	計画	実施	実施	実施	評価

➤ 計画の進行管理

毎年度実施内容、進捗率、翌年度以降の課題と取組みについて検証を行います。

16

2 平成29年度リサイクルセンター運営状況について

※平成30年2月末現在

➤ 開館日数・来館者数

279日 29,612人（内講座等3,133人・一般来館者等26,479人）

➤ 多目的室利用実績（延べ数）

358回（主催講座、イベント等346回・関連団体11回・その他1回）

➤ リサイクル品販売実績

家具・木材等 6,963個

自転車・部品 120点（7台・113点）

➤ 不用食器のリサイクル

持込者 543人 回収量 未搬出（未搬出・500.2kgリユース）

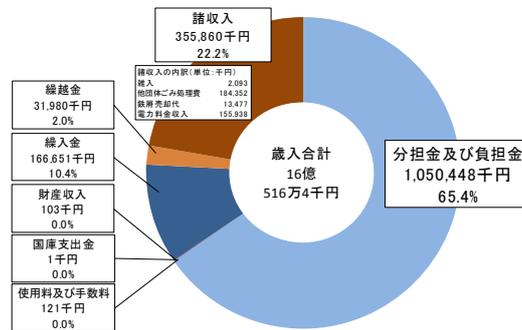
17

3 平成30年度予算概要について

予算概要

18

歳入



(単位:千円、%)

款	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 分担金及び負担金	1,050,448	65.4	1,072,967	67.1	△ 22,519	△ 2.1
2 使用料及び手数料	121	0.0	121	0.0	0	0.0
3 国庫支出金	1	0.0	0	0.0	1	皆増
4 財産収入	103	0.0	85	0.0	18	21.2
5 繰入金	166,651	10.4	162,885	10.2	3,766	2.3
6 繰越金	31,980	2.0	32,602	2.0	△ 622	△ 1.9
7 諸収入	355,860	22.2	330,857	20.7	25,003	7.6
計	1,605,164	100.0	1,599,517	100.0	5,647	0.4

歳入予算の主なもの — 増減の大きなもの —

○分担金及び負担金

10億5,044万8千円で、2,251万9千円の減(2.1%減)。

【構成市別負担金内訳】

- ・八王子市 3億4,084万3千円(32.4%)
- ・町田市 6,523万8千円(6.2%)
- ・多摩市 6億4,436万7千円(61.4%)

○繰入金

1億6,665万1千円(376万6千円増)

施設整備基金繰入金

8,348万6千円(工事への対応)

財政調整基金繰入金

8,316万5千円(前年度繰越金相当額)

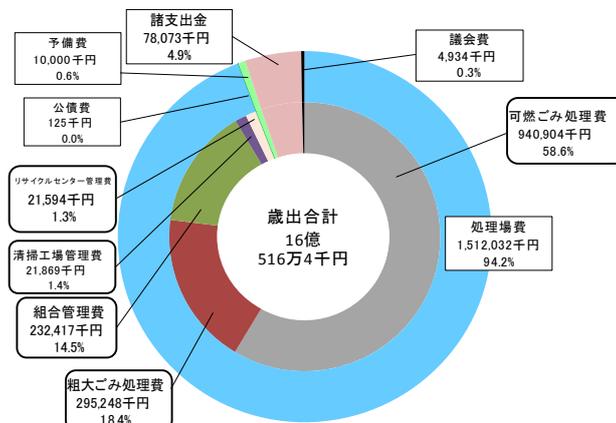
○諸収入

3億5,586万0千円(2,500万3千円増)

・八王子市拡大区域ごみ処理費 1億7,799万7千円(819万3千円増)

・売電収入 1億5,593万8千円(783万8千円増)

歳出



(単位:千円、%)

款	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議 会 費	4,934	0.3	4,535	0.3	399	8.8
2 処 理 場 費	1,512,032	94.2	1,510,728	94.5	1,304	0.1
3 公 債 費	125	0.0	119	0.0	6	5.0
4 予 備 費	10,000	0.6	10,000	0.6	0	0.0
5 諸 支 出 金	78,073	4.9	74,135	4.6	3,938	5.3
計	1,605,164	100.0	1,599,517	100.0	5,647	0.4

歳出予算の主なもの — 増減の大きなもの —

○処理場費

15億1,203万2千円で、130万4千円(0.1%)の増。

・委託料	総額 6億2,093万9千円	(4,173万6千円減)
PCB廃棄物運搬処理委託料	0千円	(1,162万1千円減)
工場運転等管理業務委託料	4億4,992万9千円	(3,172万8千円減)
脱臭用活性炭入替え委託料	1,389万7千円	(皆増)
・工事請負費	総額 5億 829万2千円	(1,822万9千円減)
機器補修工事	3億2,939万0千円	(2,555万1千円減)
分散型計算機制御システム更新工事	7,000万0千円	(皆増)
吸収式冷凍機補修工事	1,192万9千円	(皆増)

4 平成30年度の事業予定について

▶構成市間のごみ応援受け入れについての直近の予定

・八王子市

可燃ごみ 5月約 1,000 t 6月約 2,275 t 7月約 290 t
9月約 270 t 1月約 530 t 2月約 580 t
3月約 370 t 合計約 5,315 t

不燃ごみ 5月約 30 t 6月約 60 t 合計約 90 t

粗大ごみ 5月約 15 t 6月約 30 t 合計約 45 t

・町田市 不燃ごみ 10月約 300 t

▶工事の予定

・不燃・粗大ごみ処理棟 分散型計算機制御システム更新工事

▶主なイベント

地域交流事業 たまかんフェスタ 10月21日

施設見学会 夏休み子ども清掃工場見学会・煙突祭り 8月

唐木田クリーンアップ作戦 年末の予定（日時未定）

23

5 その他

(1) 地元自治会等対象清掃施設見学会 の実施について

▶開催趣旨

- ・多摩清掃工場へのご理解を深めていただくため開催

▶実施概要

- ・バスによる日帰りで他市の清掃施設見学（1日）。
- ・開催時期：秋頃（予定）
- ・定員40名程度
- ・対象自治会：町田市上小山田町内会、唐木田自治会、中組自治会、唐木田李久保自治会、ハイライズタウン鶴牧管理組合、ヒルサイドタウン鶴牧管理組合、ホームタウン鶴牧管理組合、エステート中沢管理組合（落合自治連合会）

24



25

5 その他

(2) 住民説明会の開催結果について

➤開始日時

- 平成30年2月 7日(水) 18:30~19:15
- 平成30年2月10日(土) 13:00~14:02

➤参加者数

- 2月 7日 八王子市民2名 町田市民1名 多摩市民5名
 - 2月10日 八王子市民1名 多摩市民8名
- 計17名

➤説明内容 【ごみ処理区域再編検討状況】

- (1) これまでの説明経過について
- (2) 新たな処理区域について
- (3) 区域再編までのスケジュールについて

26

5 その他

(2) 住民説明会の開催結果について

➤ 主な質疑やご意見

- 環境影響に関すること
- 収集区域選定(ごみ量確保)に関すること
- 広域化に関すること
- **地元との合意形成に関すること**
- 次期処理施設に関すること
- 工場の運営に関すること
- 相互協力に関すること

27

質 疑

28